



『子は親の鏡』

教頭 大木 克己

今年6月に北海道で7歳の男の子が、山中で両親に置き去りにされるという事件があった。男の子は無事に発見され、最悪の結果にはならなかった。TVニュース、新聞では、「親のしつけ」と報道された。

私の父は、警察官であった。大正生まれで、太平洋戦争にも行き、厳格な父であった。しつけにはかなり厳しく、朝晩のあいさつ、食事のときの姿勢（正座）など徹底して叩き込まれた。母からは「警察官の子どもだから悪いことはしてくれるな。」と事あるごとに言われて育った。しかし、小学校のやんちゃ盛りで好奇心旺盛な私は父親からお仕置き（厳しいしつけ）を受けることが度々であった。小学校2、3年頃までは、外に出されることが一番きつかった。ある時は“近所のお寺”ある時は“見沼たんぼの真ん中”であった。そしていつも「そこから一步も動くな。」と言ひ、父はいなくなる。お化けを信じていたその時期、大変怖い思いをしたことを覚えている。迎はいつも決まって1時間後位に母親が来て、父親に謝って一件落着。もう少し成長した小学校高学年になると剣道の防具を着させられて、庭で剣道の稽古という厳しい「しつけ」に変わった。時には、あまりにも厳しい稽古を見て近所のおばさんに救われたこともあった。そんな怖い父親であったが、休みの時はキャッチボールをしてくれたり、釣りに連れて行ってくれたりと楽しい思い出もたくさんある。子どもへの愛情はたっぷり感じた。今でも父親の重いボールを受けたしびれた手の感覚が懐かしい。

そんな私も、3人の子の親となった。3人とも無事成人したが、「子どものしつけ」は難しい。同じように育てたつもりでも、三者三様である。一つやり抜いたことは「兄弟を比較しないこと」である。というのは、私自身も3兄弟で、上に年の離れた優秀な姉が二人いて、子どもの頃は、親にも近所の人にも比較され嫌な思いをした経験があったからである。しかし、私も自分の父親と同じ「しつけ」を子どもにしてしまったことが何度もある。時には「やりすぎたかな」と後悔する時もあった。

子どもが既に大きくなった時に右の文章に出会い、感銘を受けた。この中のいくつかできていたかなと自問自答をした。しかし、成人した子どもにもまだまだやれることはたくさんある。

北海道のニュースの父親は、そして子どもは今どんな気持ちでいるのであろうか？

今年は父親の33回忌。私は今、父親への感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもが育つ魔法の言葉

『子は親の鏡』

ドロシー・ロー・ノルト著（米国の教育学者）

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
 とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
 不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
 「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
 子どもを馬鹿にすると、引込みみじめな子になる
 親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
 広い心で接すれば、キレる子にはならない
 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
 やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
 和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、
 この世の中はいいところだとおもえるようになる

学校教育目標 **輝く命 生きる力**

目指す生徒像
目指す教師像
目指す学校像

気迫ある生徒
気概に満ちた教師
活気ある学校

科学技術部 農園のジャガイモを収穫 7月7日(木)

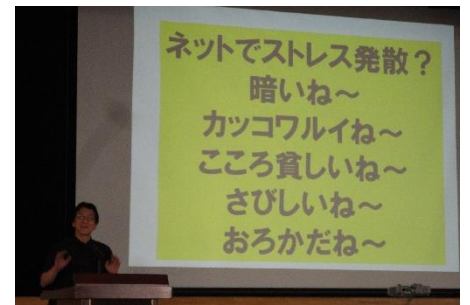
科学技術部では、4月に植えたジャガイモを収穫しました。収穫後、部員一同で収穫の報告に職員室に来てくれました。どの生徒の顔も自分たちで育てた作物を収穫した喜びで満ち溢れていました。家庭では、そのジャガイモで料理をしたそうで、食事はさぞおいしかったことでしょう。この他にも、ゴーヤやキュウリ、トマトなどが日々収穫されていて、給食に使われています。



【収穫の喜び】

ケータイ・インターネット安全教室を開催 7月8日(金)

KDDIの大久保輝夫氏を講師にお招きして『情報発信によるトラブルの被害者・加害者にならないために』をテーマに講演していただきました。実際にあった話の再現DVDや気軽にネットに載せた投稿写真が場合によっては器物損壊や業務妨害の罪になり、また時には数千万円の損害賠償を請求されるケースもあるという話には、改めて情報発信する者の責任の重さを感じさせられました。



【講師の大久保氏】

会食サービス(女子テニス部) 7月9日(土)

今回は女子テニス部 2年1組 相澤美葉さん、森田静さん、2組 秋山涼乃さん、河原塚咲さん、4組 及川美優さん、加藤乃愛さんの6人が参加してくれました。代表で2名の感想を紹介します。秋山さん「高齢者の方と接する機会が少ないので、とても貴重な体験でした。また、参加したいです。河原塚さん「会食サービスの準備は、大変だったけれど、参加者の笑顔を見ると、“頑張ってたかった”という気持ちになりました。これからも人が笑顔になる取組がしたいです。」



【爽やかな笑顔で出迎えました】

とうちゃれ③ 7月9日(土)

『英語で遊ぼう! 英語で学ぼう!』では、中澤先生を中心に、英語の「じゃんけんゲーム」、「命令ゲーム」、「フルーツバスケット」を行いました。英語(言葉)は、コミュニケーションツール(意思・情報を伝達する道具)です。中澤先生の発音のすばらしさ、表情の豊かさなども是非真似してほしいものです。【生徒の感想より】3年中原さん「ゲームをしながらいろいろなボキャブラリーを知ることができよかったです。」2年西塚くん「English game was very interesting!」1年佐藤さん「とても楽しく活動できてためになりました。」



【英語によるフルーツバスケット】

平成28年度さいたま市硬筆展

埼玉県優良賞・さいたま市特選賞 1年 相田紗貴

さいたま市特選賞 1年 加藤里奈、児玉ももこ、西野杏望、小松映理、三浦桃果、渡辺莉月

2年 相澤美葉、玉山寧桜、秋山涼乃、河原塚咲、斎藤はな、鶴野楓奈、田澤柊介
長瀬陽

3年 深井愛梨、国生瑠莉奈、細井美穂、内山祐菜、富井杏、木村木の実、駒崎千尋
高橋菜緒

さいたま市優良賞 1年 井丸モモ、森永彩加、高橋奈央、徳重咲、平野友香

2年 村山碧、鈴木佳乃、寺田理子、小林菜々海、

3年 山本花実、土方麻由、吉崎萌々子、山崎千愛

第7回安城学園カップバスケットボール大会 優勝 女子バスケットボール部

最優秀選手賞: 森下美風 優秀選手賞: 岡田空

第11回高輪カップ 準優勝 卓球 女子の部

